

架構配筋図作成

少し慣れれば、マニュアルレスで！！



Anp_Hashira

柱架構配筋

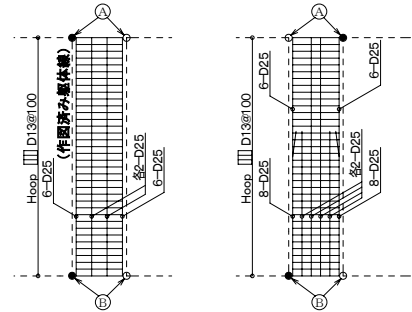
プログラムID
DN005002001

【機能】

RC架構図の、柱部分の配筋を描きます。
主筋は、全断面一定、又は、柱頭・柱脚で別配筋として描きます。
帯筋は、全断面一定として描きます。
鉄筋は、異形鉄筋及び丸鋼を扱います。

【実行例】 実線部分が、実際に作図される部分です。

【メニュー】 入力したい内容のタブを選択すると、次のメニューが表示されます。
(リスト入力メニュー) (属性1. 2メニュー)



(全断面配筋)

(柱頭・柱脚配筋)

【解説】

メニューにて鉄筋径・本数を、コンボボックスやスピンボタンにて入力します。
(A)・(B)で躯体の入力スナップ位置を指定し、作図ボタンをクリックして作図を行います。
鉄筋かぶり寸法や作図レイヤー等は、必要があれば属性メニューで変更します。



Anp_Hari

梁架構配筋

プログラムID
DN005002002

【機能】

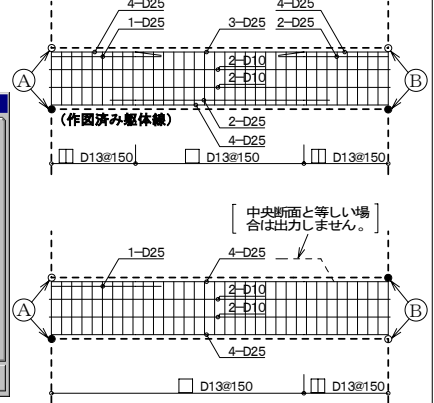
RC架構図の、梁部分の配筋を描きます。
主筋は、最大3段まで作図可能です。
肋筋本数は、2~10本までとします。
鉄筋は、異形鉄筋及び丸鋼を扱います。

【実行例】

実線部分が、実際に作図される部分です。
引出し線として不必要な部分は、作図を行いません。

【メニュー】

入力したい内容のタブを選択すると、次のメニューが表示されます。
(リスト入力メニュー) (属性1. 2メニュー)



【解説】

メニューにて鉄筋径・本数を、コンボボックスやスピンボタンにて入力します。
特に主筋・肋筋部分の入力について、まず変更したい項目をクリック指定し、左側のスピンボタンで本数を変更します。
(A)・(B)で躯体の入力スナップ位置を指定し、作図ボタンをクリックして作図を行います。
鉄筋かぶり寸法や作図レイヤー等は、必要があれば属性メニューで変更します。



Anp_Shiguchi

仕口架構配筋

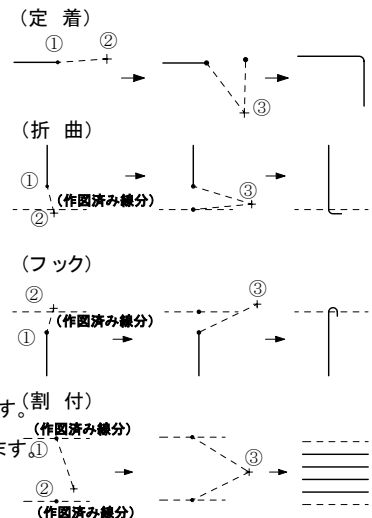
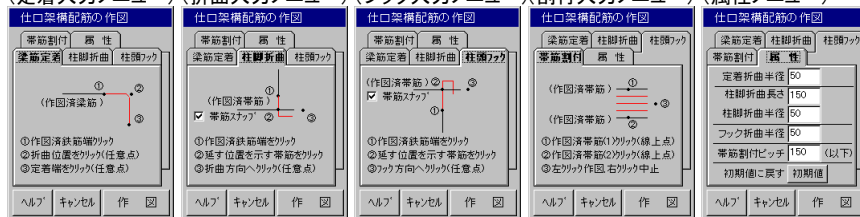
プログラムID
DN005002003

【機能】

RC架構図仕口部分の、定着筋・折曲げ・フック・帯筋割付を描きます。
作図線分は、延長・分割された線分と同一レイヤー・カラーとなります。

【実行例】 以下に、作図手順を示します。

【メニュー】 入力したい内容のタブを選択すると、次のメニューが表示されます。
(定着入力メニュー) (折曲入力メニュー) (フック入力メニュー) (割付入力メニュー) (属性メニュー)



【解説】

作図したいメニューを開き、作図ボタンをクリックします。
(定着) 定着させたい鉄筋をクリックし、折曲げ位置・定着端位置をクリック作図します。
(折曲) 折曲げたい鉄筋をクリックし、折曲げ位置にある帯筋・折曲げ方向をクリック作図します。
(フック) フックを付ける鉄筋をクリックし、折曲げ位置にある帯筋・フック方向をクリック作図します。
(割付) 割付を行いたい両端の帯筋をクリックし、良ければ左クリックにて作図します。

鉄筋かぶり寸法や作図レイヤー等は、必要があれば属性メニューで変更します。